

学 会 記 事

I. 令和2年度 緑鳳学会第29回大会

開催日時 令和2年10月24日(土) 12:00

1. 開催場所 オンライン (Zoom) での実施

2. プログラム

(1) 会長挨拶 近江 吉明 (緑鳳学会会長) 【12:00~12:05】

(2) 研究発表会 【12:10~13:10】

発表者：横井 里保 (専修大学大学院法学研究科博士後期課程公法学専攻3年次生)

テーマ：「アメリカ連邦遺産税の合憲性と遺産の時価評価の法的構造」

【座 長】 谷口智紀 (専修大学法学部准教授)

(3) パネルディスカッション 【13:30~16:45】

統一テーマ：「多発する自然災害を学際的に問う」

コーディネーター：近江 吉明 (緑鳳学会会長)

○報告 (13:30~15:25)

報告Ⅰ

【報告者】 近江 吉明 (専修大学名誉教授)

【テーマ】 繰り返される異常気象下での新型コロナウイルス流行の要因を考える
— 14世紀ヨーロッパにおけるペスト流行との比較を通して —

報告Ⅱ

【報告者】 田中 禎昭 (専修大学文学部教授)

【テーマ】 日本古代における気候変動と国家—八世紀初頭の災害対策—
(15分休憩)

報告Ⅲ

【報告者】 李 東勲 (石巻専修大学経営学部教授)

【テーマ】 東日本大震災を振り返って

報告Ⅳ

【報告者】 久保 成史 (関西学院大学法科大学院非常勤講師)

【テーマ】 現代における企業の内部統制とその方向性
(20分休憩)

○パネルディスカッション (15:45~16:45)

統一テーマ：「多発する自然災害を学際的に問う」

(4) 総会 (報告)、閉会の挨拶 森田 悦史 (緑鳳学会副会長) 【16:45~17:00】

※総会は新型コロナウイルス感染拡大に鑑み総会はメールでの実施、懇親会は中止とした。

Ⅱ. 役員会

【令和2年度 第2回役員会】

日 時	令和2年10月2日（金）～10月17日（土）※メール投票期間
場 所	※新型コロナウイルス感染防止のためメールによる書面投票での審議となった。
出席者	近江 吉明、小西 範幸、森田 悦史、宇佐美嘉弘、李 東勲、大澤 史伸、岡田 好史、楠 政己、久保 成史、坂詰 智美、谷口 智紀、松原 直樹、三森 敏正、宮岡 孝之、矢吹 芳洋、矢邊 均、田中 禎昭、谷ヶ城 秀吉
議 題	<p>新型コロナウイルス感染防止のため、審議事項をメール投票による審議となった。</p> <p>(1) 緑鳳学会第30回大会の開催日程について 令和3年10月23日（土）神田校舎での開催が提案され、投票により承認された。</p> <p>(2) 令和2年度第3回役員会の開催日について 令和2年12月18日（金）に実施することが提案され、投票により承認された。</p> <p>(3) その他</p> <p>1) 緑鳳学会第29回大会の進行について 進行表について会長、副会長、代表幹事に一任することが提案され、投票により承認された。</p> <p>2) 緑鳳学会第29回大会総会議事録の署名者について 当日の参加者から決定することが提案され、投票により承認された。 宇佐美嘉弘先生、谷口智紀先生に決定した。</p> <p style="text-align: right;">以 上</p>

【令和2年度 第3回役員会】

日 時	令和2年12月7日（月）～12月23日（水）※メール投票期
場 所	※新型コロナウイルス感染防止のためメールによる書面投票での審議となった。
出席者	近江 吉明、小西 範幸、森田 悦史、宇佐美嘉弘、李 東勲、大澤 史伸、岡田 好史、楠 政己、久保 成史、坂詰 智美、谷口 智紀、松原 直樹、三森 敏正、宮岡 孝之、矢吹 芳洋、矢邊 均、田中 禎昭、谷ヶ城 秀吉
議 題	<p>新型コロナウイルス感染防止のため、審議をメール投票により行うこととなった。</p> <p>(1) 緑鳳学会第30回大会のパネルディスカッションのテーマ募集について 2月26日（金）を締切で役員にテーマを募集し、第4回役員会に素案を提示することが提案され、投票により承認された。テーマの募集は役員に対しメールで行うこととなった。</p> <p>(2) 機関誌「専修総合科学研究第29号」の発行（投稿者等）について</p> <p>1) 投稿優先者について 第29回大会研究発表者の横井里保氏及び第29号の掲載希望者多数のため</p>

	<p>選考の結果掲載できなかった木村敏夫氏を投稿優先者とすることが提案され、投票により承認された。2) 原稿募集について</p> <p>会員に通知し、5～6編の原稿(執筆者)を募集すること、投稿希望者の投稿申込締切日を3月3日(水)とすることが提案され、投票により承認された。</p> <p>(3) 令和2年度第4回役員会の開催日について</p> <p>3月24日(水)15時00分から神田校舎開催を予定することが提案され、投票により承認された。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>
--	--

【令和2年度 第4回役員会】

日 時	令和3年3月12日(金)～令和3年3月29日(月) ※メール投票期間
場 所	※新型コロナウイルス感染防止のためメールによる書面投票での審議となった。
出席者	近江 吉明、小西 範幸、森田 悦史、宇佐美 嘉弘、大澤 史伸、岡田 好史、楠 政己、久保 成史、坂詰 智美、谷口 智紀、松原 直樹、三森 敏正、宮岡 孝之、矢吹 芳洋、矢邊 均、田中 禎昭、谷ヶ城 秀吉
議 題	<p>新型コロナウイルス感染防止のため、審議をメール投票により行うこととなった。</p> <p>(1) 令和3年度専修大学緑鳳学会第30回大会開催(タイムスケジュール)について対面で実施の場合原案どおりで投票により承認された。</p> <p>なお、新型コロナウイルスの完成状況により、オンラインでの実施になることもあることが投票により承認された。</p> <p>(2) 第30回大会研究発表希望者について</p> <p>発表申込希望のあった朝倉健男氏を承認することが投票により承認された。博士後期の学生については例年どおり告知し、募集を行うことが投票により承認された。5月31日締切</p> <p>※後日、発表希望者のから発表から論文投稿への変更の申し出があった。</p> <p>(3) パネルディスカッションの統一テーマについて</p> <p>小西範幸先生提案の「SDGsが求める経済社会とデータサイエンス」が投票により承認された。</p> <p>(4) 機関誌「専修総合科学研究第29号」原稿掲載希望者について</p> <p>1) 投稿優先者1名の掲載について</p> <p>令和2年度発表者から申請があり、投票により承認された。</p> <p>■横井 里保(専修大学法学研究科博士後期課程3年次)</p> <p>テーマ: アメリカ連邦遺産税における資産評価の法的構造(仮)</p> <p>2) 投稿希望者6名の掲載について</p> <p>公募の結果、6名から申請があり、投票により承認された。</p> <p>1. 論説 5名(横書き4名、縦書き1名)</p>

■加藤 慶（東京通信大学人間福祉学部 助教）

テーマ：アメリカにおける同性婚裁判への心理学・ソーシャルワーク専門職による介入に関する研究【横書き】

■後藤 泰一（信州大学 名誉教授・放送大学〔長野学習センター〕客員教授）

テーマ：一茶と良寛（仮題）【横書き】

■矢邊 均（東日本国際大学経済経営学部 教授）

テーマ：アメリカ副大統領の役割（仮）【横書き】

■高橋 則雄（緑鳳学会会員）

テーマ：パリ・コミュンにおける警察官の役割—司直として、公共福祉の支援者として—（後編）【横書き】

■今井 清人（文芸評論家）

テーマ：村上春樹の音楽X—『1 Q84』BOOK3を中心に

2. 研究ノート（横書き1名）

■大澤 史伸（東北学院大学教養学部 准教授）

テーマ：市民活動とは何か？【横書き】

※発表希望者の朝倉健男氏から後日、発表から論文投稿への変更希望があり、事務局より近江会長に報告。会長、副会長協議により今年度掲載枠があることから投稿を者として扱い、正式な承認は次回役員会で行うこととなった。

3. 追加変更

■朝倉 健男（専修大学経済学部 助教）

※申請時専修大学経済学研究科博士後期課程修了予定

テーマ：中央銀行のLLRとMMLR

上記の結果、論説7名、研究ノート1名となった。

3) 掲載項目について

パネルディスカッション報告要旨、巻頭言・編集後記原稿について執筆者が確認され、投票により承認された。

4) 原稿提出について

原稿提出締切日は令和3年6月15日（火）厳守で提案され、投票により承認された。

(5) 次回役員会（令和3年度第1回）の開催について

令和3年6月下旬を開催予定とすることが提案され、投票により承認された。

以上

【令和3年度 第1回役員会】

日 時	令和3年6月19日（土）～令和3年7月5日（月）※メール投票期間
場 所	※新型コロナウイルス感染防止のためメールによる書面投票での審議となった。
出 席 者	近江 吉明、小西 範幸、森田 悦史、宇佐美 嘉弘、李 東勲、大澤 史伸、岡田 好史、楠 政己、久保 成史、坂詰 智美、谷口 智紀、松原 直樹、三森 敏正、宮岡 孝之、矢吹 芳洋、矢邊 均、田中 禎昭、谷ヶ城 秀吉
議 題	<p>新型コロナウイルス感染防止のため、審議をメール投票により行うこととなった。</p> <p>(1) 役員改選について 役員改選にあたり、令和4・5年度は、令和2・3年度の役員が継続することが提案され、メール審議の結果、投票により承認された。</p> <p>(2) 緑鳳学会第30回大会 大会、総会の実施方法について 大会、総会の実施方法については「A案 会長、副会長、代表幹事に一任する」、「B案 役員会でのメール投票で決定する（8月下旬～9月に実施する）」、「C案 その他」の3つの選択肢が提案され、メール審議の結果、投票によりA案に決定し、承認された。</p> <p>(3) 緑鳳学会第30回大会 研究発表者について 研究発表者の辞退と博士後期課程の応募について説明され、以下の学生から申請があったことが紹介された。また、発表時の座長は、指導教授の飯考行教授が行うことが報告された。</p> <p>○杉山 千春（専修大学法学研究科公法学専攻1年次） 題目 裁判員制度における不選任請求の実態 メール審議の結果、投票により原案どおり承認された。</p> <p>(4) 緑鳳学会第30回大会 パネルディスカッションについて 統一テーマの提案者である小西範幸先生をコーディネーターとしてパネラーの連絡、調整は一任する案が提案され、メール審議の結果、投票により承認された。</p> <p>(参考) 統一テーマ「SDGsが求める経済社会とデータサイエンス」</p> <p>(5) 緑鳳学会第30回大会 業務分担、タイムスケジュールについて 大会の業務分担、タイムスケジュールについて、会長、副会長、代表幹事に一任するということが提案されメール審議の結果、投票により原案どおり承認された。</p> <p>(6) 機関誌「専修総合科学研究」(第29号) 執筆者について 発表希望者が投稿への変更希望があったため、再度執筆者希望者について報告を行った。</p> <p>また、論説（横書き）から研究ノートへの変更が1名あり資料として提示され、メール審議の結果、投票により原案どおり承認された。</p> <p>1. 論説（横書き）</p>

- 後藤 泰一（信州大学名誉教授）
 題目 一茶と良寛－「焚くほどは…」の句を通して－
- 高橋 則雄（緑鳳学会会員）
 題目 パリ・コミュニケーションにおける警察官の役割—司直として、公共福祉の支援者として—（後編）
- 矢邊 均（東日本国際大学経済経営学部 教授）
 題目 アメリカの副大統領に関する序章的考察—アメリカの民主主義における副大統領の地位と役割—
- 朝倉 健男（専修大学経済学部 助教）
 題目 FRBによる世界金融危機時における信用秩序維持政策－LLR・MMLR・GLLR
- 横井 里保（専修大学法学研究科博士後期課程公法学専攻4年次／島根大学法文学部 講師）
 題目 米国連邦遺産税における不動産評価の法的構造

※横井里保氏の題目は役員会資料送付後に一部修正の申し入れがあったため、変更後の題目を記載。

2. 研究ノート（横書き）

- 大澤 史伸（東北学院大学教養学部 准教授）
 題目 わが国の市民活動におけるボランティアの役割（2）－ボランティアの歴史からの検討－
- 加藤 慶（東京通信大学人間福祉学部 助教）
 題目 アメリカにおける同性婚裁判への対人援助科学による介入に関する研究-社会福祉学に焦点をあてて

3. 文芸時評（縦書き）

- 今井 清人（文芸評論家）
 題目 村上春樹の音楽X—『1 Q84』BOOK3を中心に

(7) 新入会希望者について

研究発表希望者の杉山千春氏から緑鳳学会入会の希望があり、メール審議の結果、投票により原案どおり承認された。

(8) その他

第2回役員会の開催時期については「A案 8月下旬～9月上旬に実施する。」「B案 大会開催日付近で実施する（実施方法は未定）。」「その他内容を自由記述欄に記入ください。」の3つの選択肢が提示され、メール審議の結果、投票によりA案に決定し、承認された。

以上